

えひめ南農協の事業展開の現状と 人づくり、危機管理などについて

～運営体たる農協の運営原資を買い続けるに足る盤若の経営体実現をもとめて～

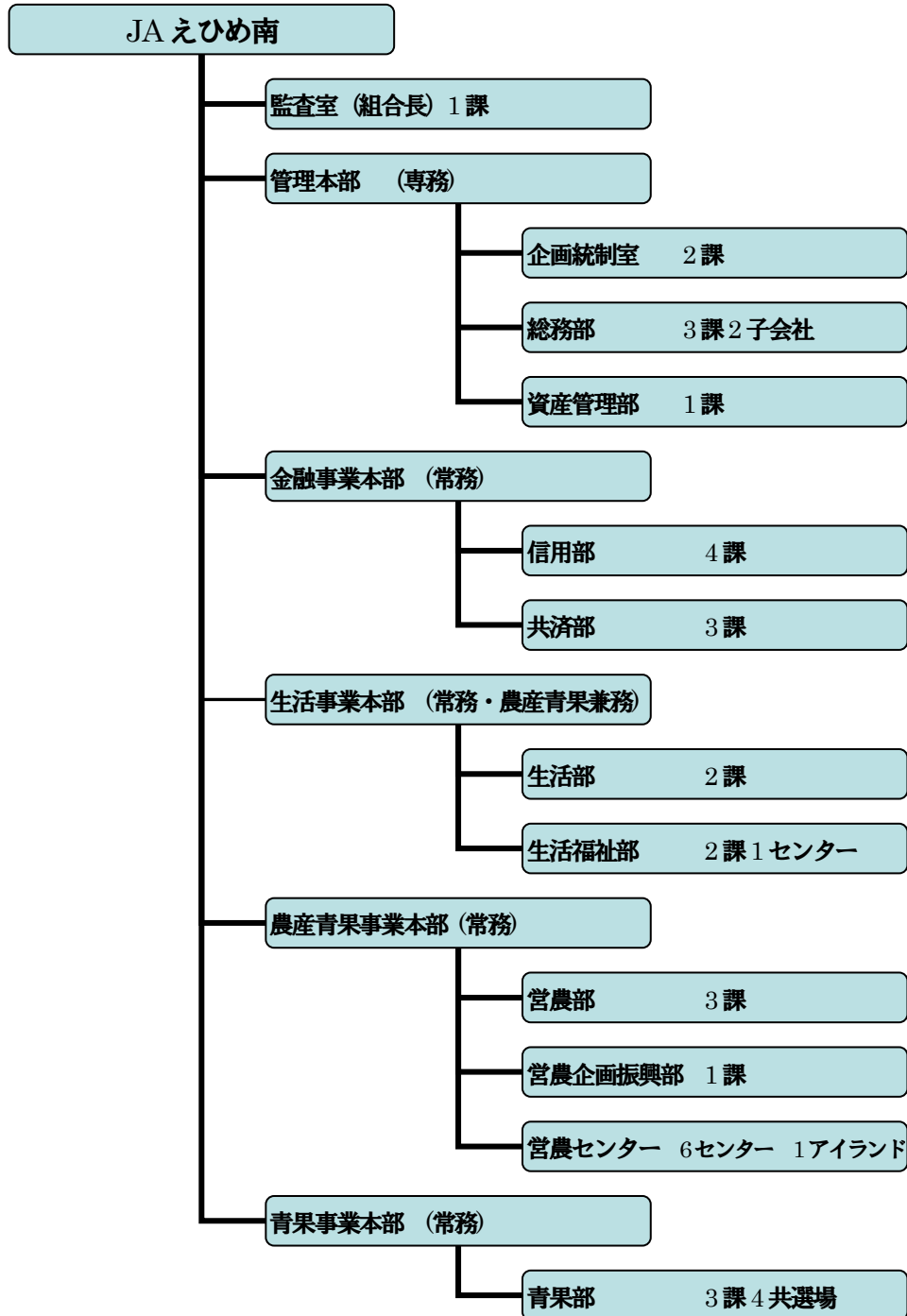
平成24年12月6日
JAビル（東京・大手町）
えひめ南農業協同組合
代表理事組合長 黒田 義人

事業総利益の域少傾向と 事業管理費節減限界の接近

- どこもかしこも人手不足が顕在化
全体としての事業量は減ってしまったのに・・・

- どんどん進む少子高齢化に地域は喘いでいる

事業展開の現状～5事業本部体制の概要～



平成23年度実績

項目	数値	備考
組合員数	21,891 人	(正 : 13,363、准 : 8,528)
出資金	6,365,681 千円	
役員数	50 名	(理事 : 43、監事 7)
職員数	728 名	(正職 555、臨時 173)
事業総利益	3,859,991 千円	
事業管理費	3,787,705 千円	
事業利益	72,286 千円	
貯金残高	156,342,569 千円	
貸出金	27,386,770 千円	
長期共済保有高	670,011,110 千円	
生活購買	5,987,122 千円	
生活利用等	953,517 千円	
農産購買	3,077,719 千円	
農産販売	8,900,135 千円	
農産利用等	1,043,068 千円	

農協存続総力戦に向けて ～運営原資を稼ぎ続ける経営実現～

ひと

大多数のひとは、公正、公平を歓迎し、士気は昂揚する。困難な中で敢えてその基盤整備をすすめている。

- ・ 臨時職員の正職員登用職域の拡大
- ・ 低時給臨時職員の時給額引き上げ
- ・ 年齢による給与削減の廃止
- ・ 基本給引き上げの実施
- ・ 職位に見合う昇給の遡及実施
- ・ 新採面接における全常勤役員参加と合議決定化
- ・ 新採職員試用期間設定主旨の実践

人のやる気のすばらしさ

- ・ 労組との関係

-
- ・ 市役所に追いつき、追い越そう

ひとは、いかにして人材となりうるのか。

人材は、知識の器をこえて徳の器をめざすものである。

- 自律生育こそが基本である
 - ・ 麦踏み
 - ・ 艱難汝を玉となす
 - ・ 緑植物バーナリゼイション 玉雪開花
 - ・ 一本植えの分けつ力
- 最初のきっかけ
 - ・ 伸びようとする内なる欲求に点火する
 - ・ 水を飲みたくない馬
- 自己研鑽へのいざない
 - ・ 集団座学研修の効用と限界
 - ・ ある時点で量は質に転換する ～沸点～

-
- ・シンギュラーポイント ～人が目覚める時というものがある～

- 経験を積ませる

喜怒哀楽や、何かの成否を幾たびも経験するうち、人は否応なく考えるものである。そこに学びの契機がある。結局のところ農協職場での人材育成は、仕事従事を通じてその人が学びの必要性を痛感することからはじまる。その確率を高めるのは広義の「旅」であるように思う。

- 配置転換

- ・あぐりスクールで児童引率を経験させる
- ・出張で「異邦人」と交流
- ・発表の機会
- ・組合員訪問

- ある程度頭角を現した者を認め励まし、選抜研修を実施する。

- ・次代を託せる人材の発掘と養成

-
- ・組織の中核人材にはチャンスと試練が待つ。彼等はそのことを予感し期待している。

もの

固定比率未達の中で敢えて設備投資を実施。経済事業改革の基盤整備であり、農協本来事業の建て直しを企図。

22年度 セルフSS開設

23年度 ライスセンター改修

柑橘共選場光センサー選果機改修

Yショップ開店（全農・ヤマザキ提携店舗全国1号店）

24年度 桃選果場改修

セルフSS開設（既存3店舗を統合）

Yショップ開店

ゆず搾汁工場建設中（12月中旬試運転予定）

計画中 共選場光センサー選果機改修

かね

- 地域経済は不振低迷を続け、農協事業は右肩下がりを余儀なくされている。しかし、課題を先送りすればするほど困難は増大しがちである。
 - ・ 減損処理の実施
 - ・ 不稼動固定資産の処分
 - ・ 固定比率改善
 - ・ 不良債権処理
 - ・ 自己査定による引き当て
 - ・ 非常事態財務基盤確立に向けての、積み立てと取り崩しの仕組み作り
 - ・ 他部門運用の圧縮
 - ・・・ 貯金が伸びにくい中、信用事業運用原資を無駄にできない

危機管理

人類の強敵は、不安心理である。これはどんどん自己増殖する。危機の危機たる所以は、危機に臨んで人が不安に陥ることである。

この世の存在は時とともに変化する。作用も変化する。事象の因果的連鎖の過程に出現する危機も好機も経時変化を免れない。必ず固有の起承転結を有している。因果的連鎖の所産である以上、未然に対応できる場合もあるし、既発の場合にも対応はできる。

総合事業を営む農協には、実にさまざまなリスクが各事業ごとに発生する。

- ・ 自然災害・金利変動等信用リスク・品質・不祥事などの対応要領、
- ・ 演習
- ・ 啓発、注意喚起
- ・ 人材

-
- ・物財
 - ・情報

ひと・・・人間、この素晴らしきもの、不可思議なるもの。その人間が大事にされにくい状況。

- ・維新開国 西欧近代との格闘
- ・近代的自我、個人主義
- ・土着のムラ社会風土に生きた多数国民
- ・帰化と馴化
- ・共同体からの解放 家、ムラ、世間
- ・資本主義の進展
- ・戦後の状況
- ・地縁血縁共同体を基礎とする農協
- ・株主資本主義の台頭 馴化への逆行
- ・バーゼル体制
- ・共同体の崩壊進行
- ・魔性の電腦社会と疎外

-
- ・ 声なき悲鳴
 - ・ 堪忍情と優しさの日本的共同体文化
 - ・ 稲作 治水利用工事 井口止め・切りはえ いいれ
 - ・ 漁村 資源配分、弱者への配慮 事故救難の無償
 - ・ 商店街 客足よろしくないときの買い支えあい
(今は、安さ求めてスーパーへ走ると自嘲)